



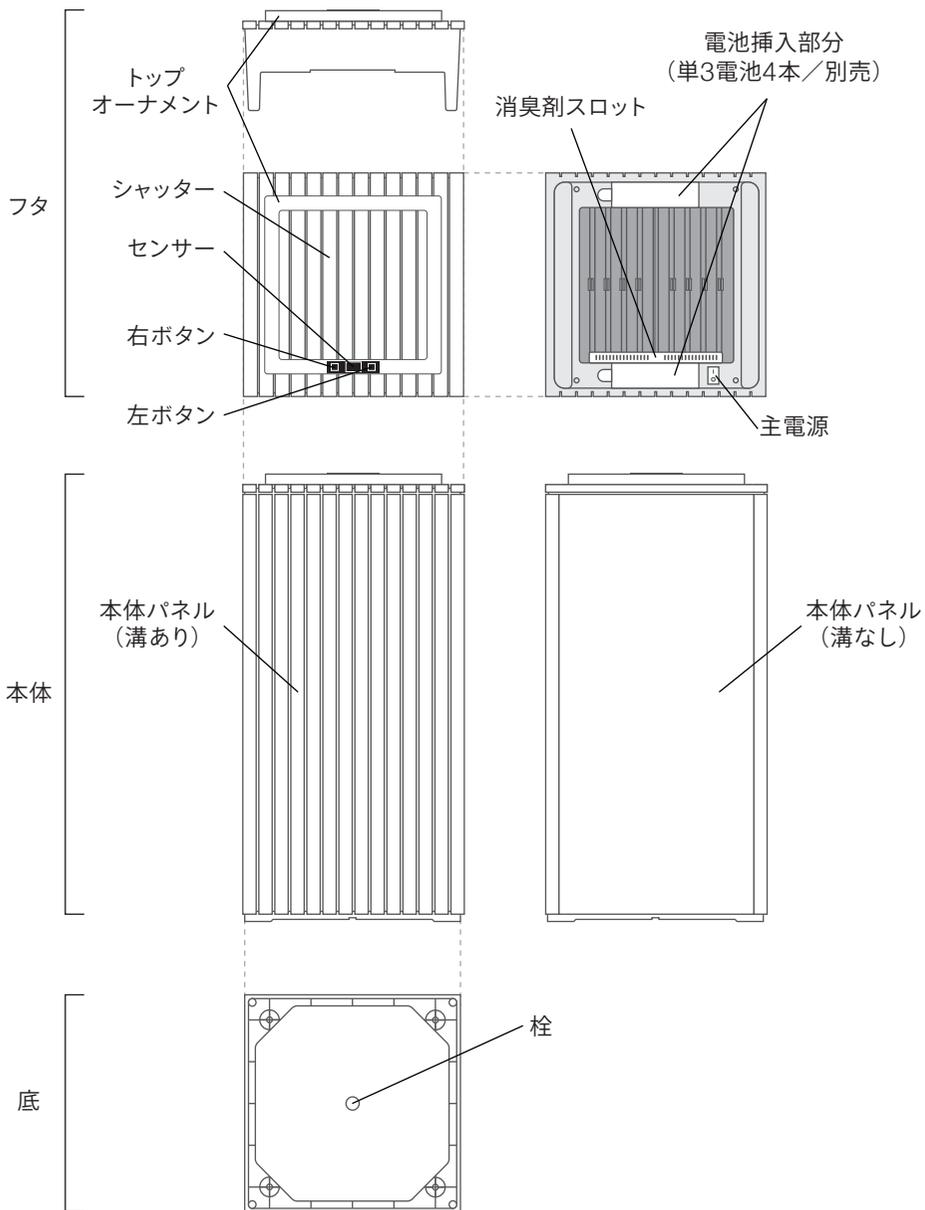
取扱説明書

Instruction Manual

使用上のお願い

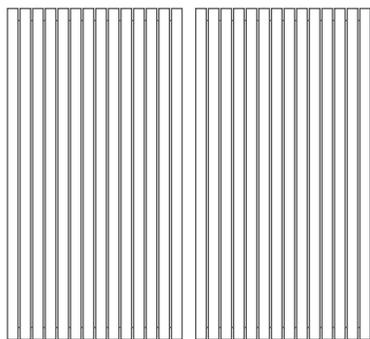
- フタを落としたり、強い衝撃を加えないで下さい。破損の原因になります。
- フタの上に乗ったり、重い物を乗せないで下さい。破損の原因になります。
- フタを水洗いしないで下さい。故障の原因になります。
- シャッターを手で動かさないで下さい。故障の原因になります。
- 電池のプラスマイナスを逆に入れないで下さい。ショートによる発火や液漏れの原因になります。
- 改造、分解をしないで下さい。改造、分解をすると液漏れ、故障、感電、火災の原因になります。
- 乳幼児の手の届くところにフタを置かないで下さい。ご操作や、電池を取り出し、誤って飲み込んでしまう原因になります。飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談して下さい。
- センサー部分、電池部分に故意に水をかけないで下さい。故障、感電、火災の原因になります。
- 屋外で使用しないで下さい。変形、発火、火災の原因になります。
- 暖房、発熱器具の近くに置かないでください。発火、火災の原因になります。
- 高温のゴミを捨てないで下さい。本体の底の樹脂が溶けてしまいます。

各部の名称と機能

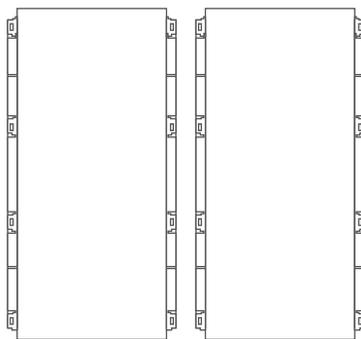


組み立て

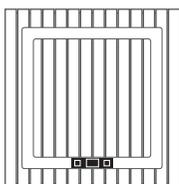
パーツリスト



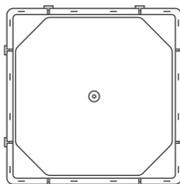
本体パネル(溝あり)



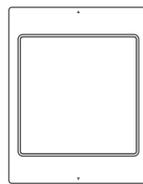
本体パネル(溝なし)



フタ



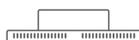
底パーツ



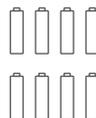
リング



金属固定パーツ



消臭剤スロット

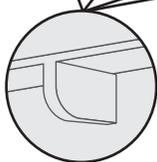
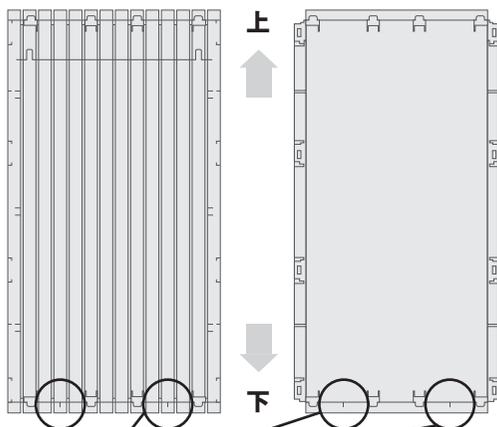


単3電池(別売)

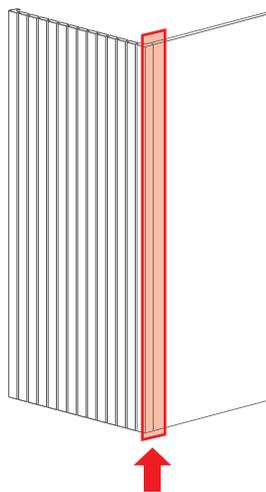


- 間違った組み立てをすると元に戻せません。
必ず以下の説明通りに組み立てを行ってください。
- 製品に傷がつかないように、本体パネルを包んである緩衝材を床に敷いて組み立てを行ってください。

1 本体パネル(溝あり)と本体パネル(溝なし)の上下を合わせて、
本体パネル同士の隙間がないように組み立てる

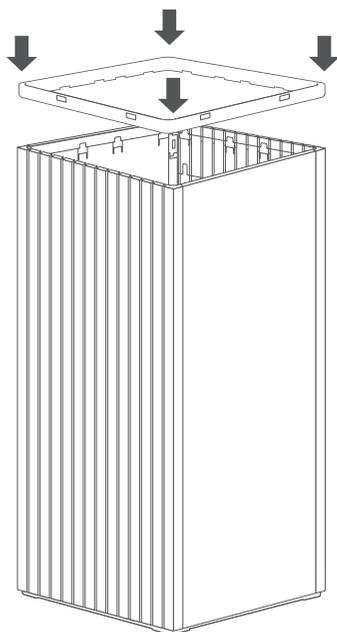
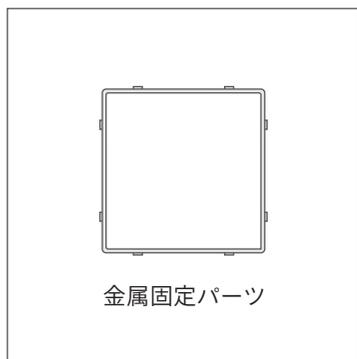


つめのようなものが
ついている方が
下になります。

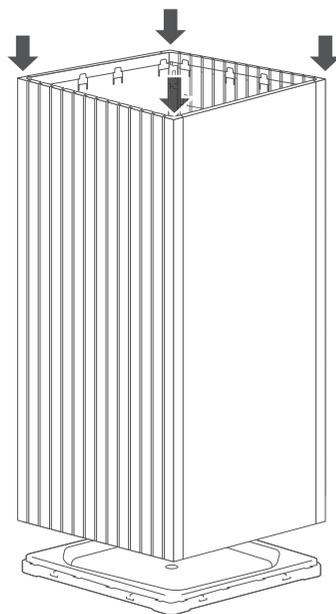
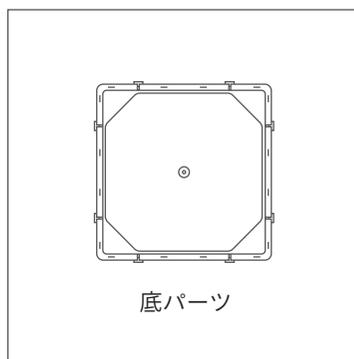


パネル同士の
隙間がないように
組み立ててください。

2 金属固定パーツを 上から押し込む



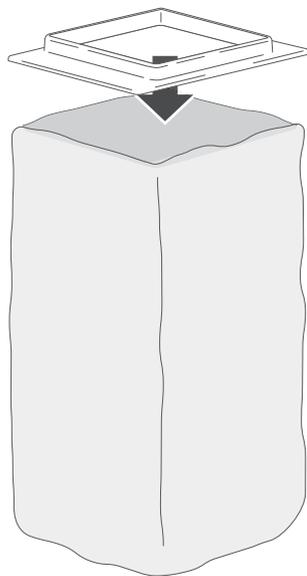
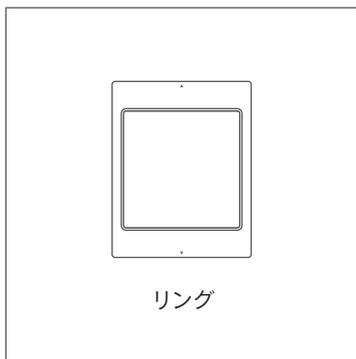
3 底パーツを床に置き、 組み立てた本体パネルを 上から押し込む



本体パネル同志の隙間がないことを確認してから、底パーツをはめてください。

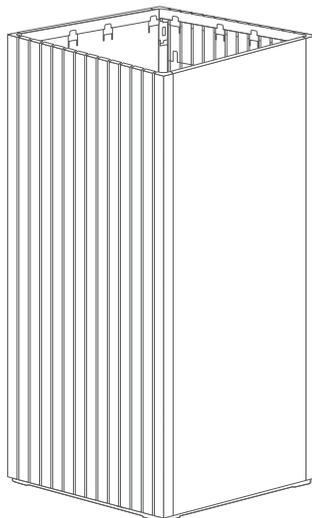
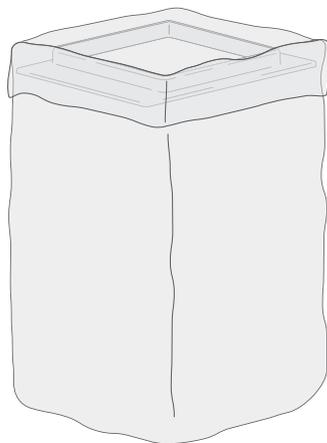
4 【ゴミ袋の取付】

リングにゴミ袋を取り付ける

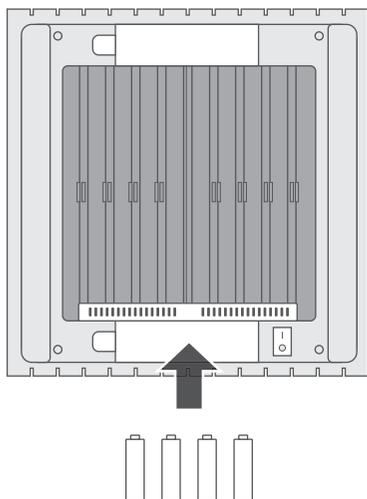
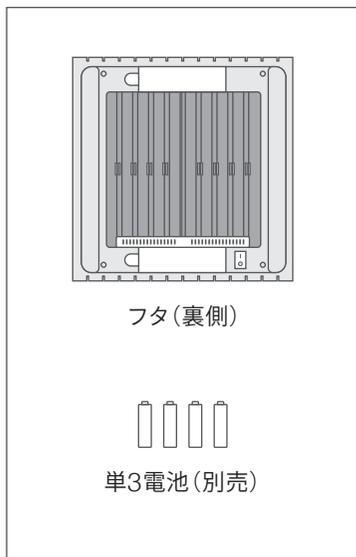


5 【ゴミ袋の取付】

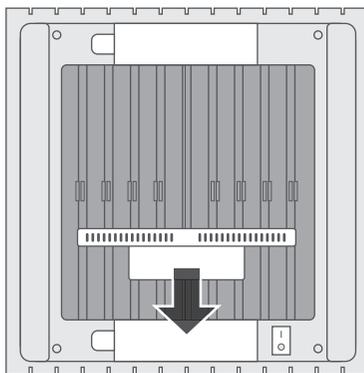
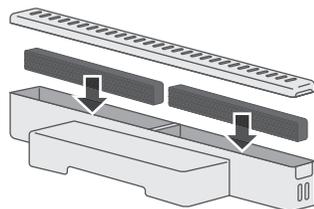
ゴミ袋を取り付けたリングを
本体パネルの溝にセットする



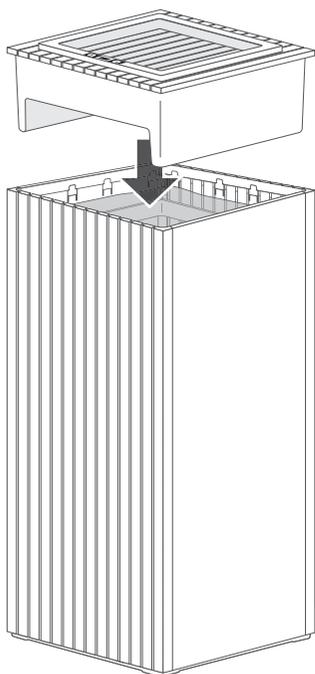
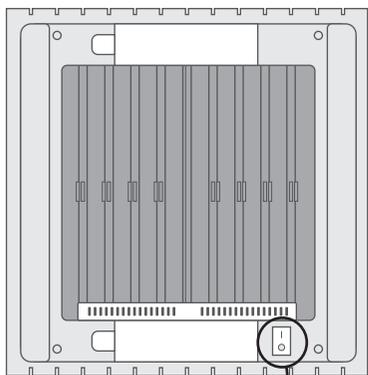
- 6** フタを裏返して電池ケースフタを外し、
単3電池4本、もしくは8本を入れて
電池ケースフタを閉じる



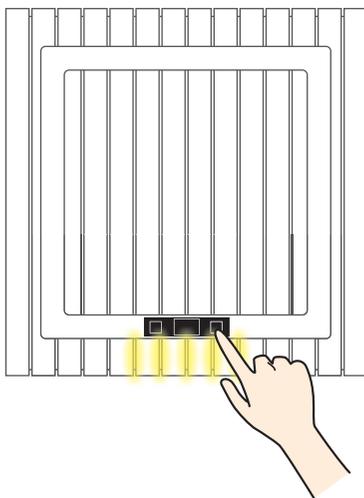
- 7** 【消臭剤の取付】
消臭剤スロットのフタを開け、
消臭剤を入れてフタを閉じた後、
消臭剤スロットをフタにセットする



- 8** 【起動】
主電源をオン(I)にし、
(LEDが点灯する)
フタを本体にセットする



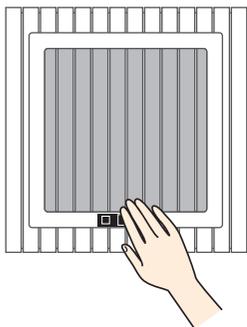
- 9** 【起動】
左右いずれかのボタンを押す
(LEDが明滅する)



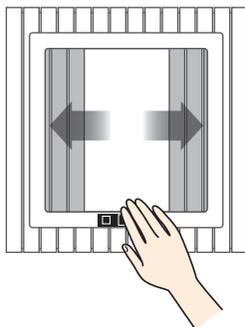
使い方

自動開閉

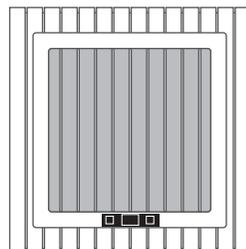
①手をセンサーにかざす



②フタが開く

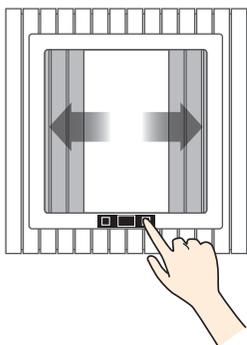


③フタが閉まる

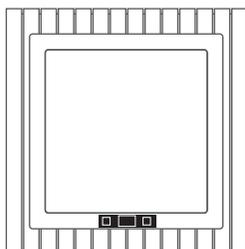


手動開閉

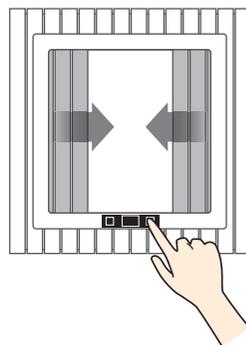
①左右ボタンいずれか
押す



②フタが開いたままの
状態になる



③左右ボタンいずれか
押すとフタが閉まる



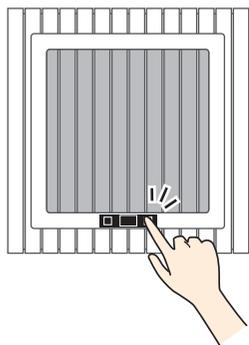
※開きっぱなしの状態では15分間操作しなかった場合は、自動でフタが閉まります。

センサーオフモード

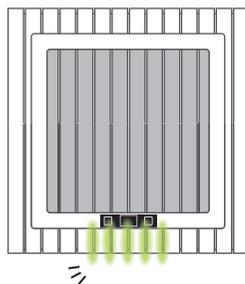
10秒間、センサーによる自動開閉を行わないモードです。

お手入れの際、ゴミ袋の交換時など、センサーが反応して欲しくない時にお使い下さい。

- ①右ボタンを
連続で2回押す



- ②LEDが点滅し、10秒間
センサーオフモードへ



※センサーオフモード中も手動開閉は行なえます。

説明動画はこちらから ▶

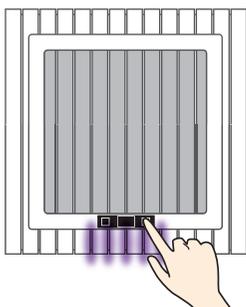


使いやすいように調整する

開放時間の調整

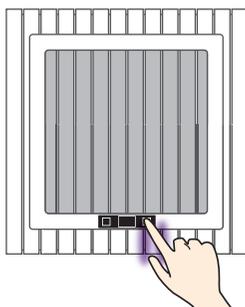
フタが開いている時間を1～5秒の間で調整可能です。

- ①右ボタンを長押しして
開放時間調整モードにする



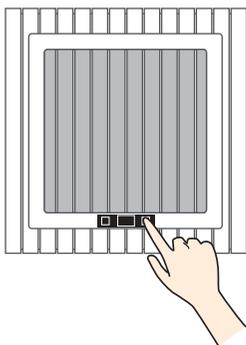
モード中はLEDが紫に点灯

- ②右ボタンを押して
お好みの開放時間に調整する



LEDの点灯数＝開放時間秒数
(例：2灯＝2秒)

- ③右ボタン長押しすると
開放時間調整モードが終了



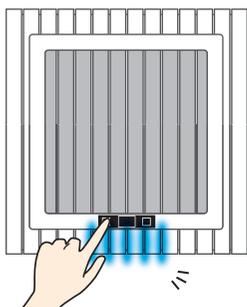
説明動画はこちらから ▶



感知距離の調整

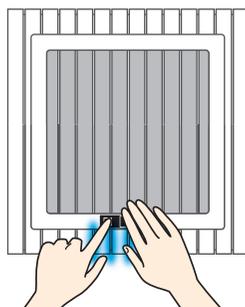
センサーの感知距離を1-30cmの間で調整可能です。

- ①左ボタン押しっぱなしで
センサー感知距離調整モードにする



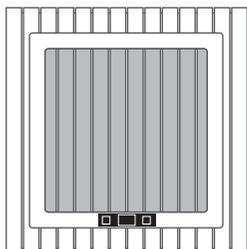
モード中はLEDが青に点滅

- ②設定したい位置に手をかざす



設定が完了すると
LEDの点滅が点灯に変わる

- ③左ボタンから指を離して
センサー感知距離調整モードを終了させる

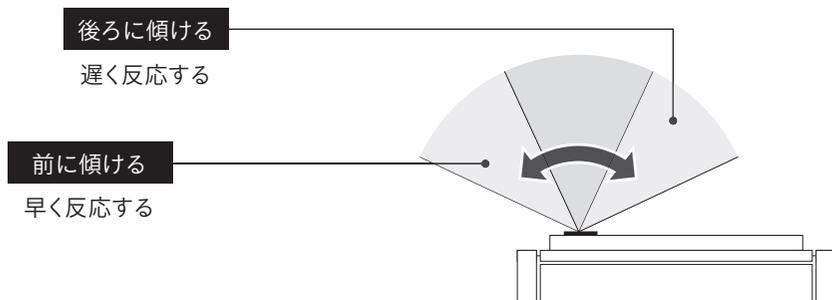


説明動画はこちらから ▶

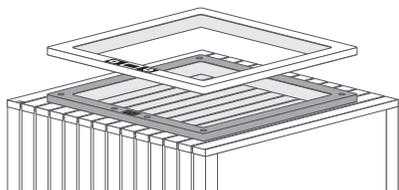


感知角度の調整

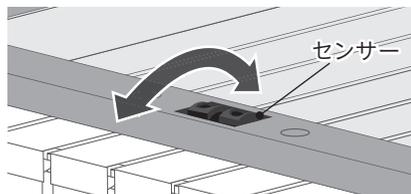
センサーの感知角度を奥と手前に傾けることができます。



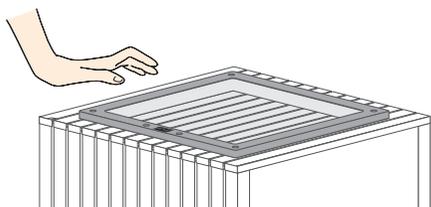
① トップオーナメントを外す



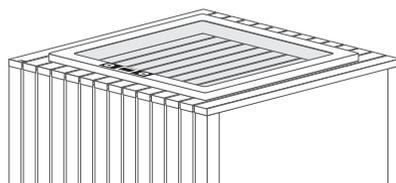
② センサーの角度を動かす



③ 手をかざして好みの使用感に調整する



④ トップオーナメントを取り付ける



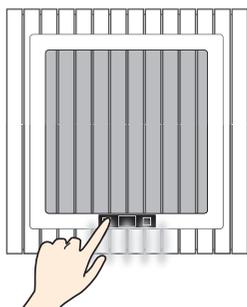
説明動画はこちらから ▶



センサー感度の調整

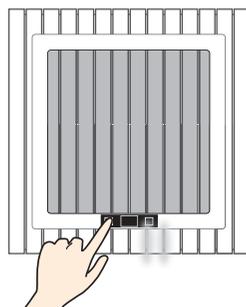
センサー感度を3段階で調整できます。

- ①左ボタンを2回押して
センサー感度調整モードにする



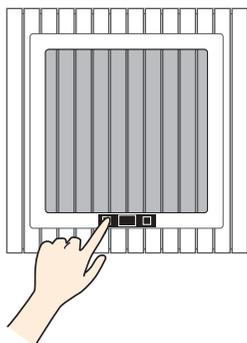
モード中はLEDが白に点灯

- ②左ボタンを押して
好みの感度に調整する



点灯数が少ないほど
感度が高くなります。

- ③左ボタンを2回押して
センサー感度調整モード終了



感度を早くすると電池の消耗が
早くなることにご注意下さい。

LED点灯数	3	2	1
感知時間	0.2秒	0.15秒	0.1秒
電池を4本 使用した場合	8.6ヶ月	6.3ヶ月	5.6ヶ月
電池を8本 使用した場合	17ヶ月	11.3ヶ月	9.3ヶ月

※電池の自然消費なし

※上記動作期間は、1日あたり20回の開閉した場合の理論値

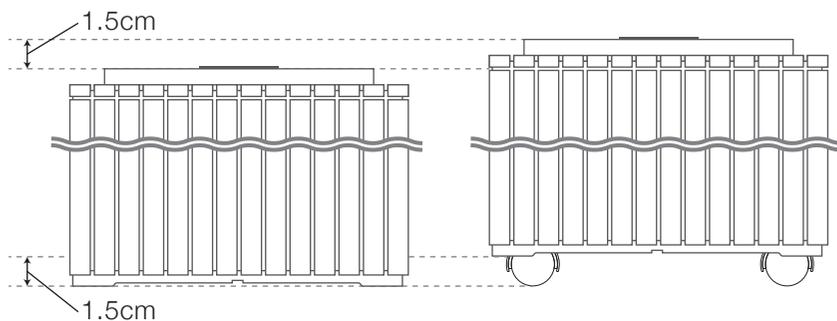
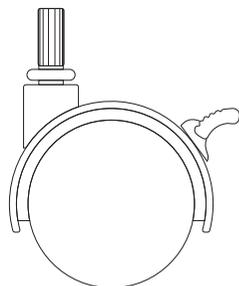
※4本もしくは8本

説明動画はこちらから▶



別売のキャスターで移動しやすくする

- キャスターを取り付けると、ZitA SQUAREを簡単に動かせるようになります。
- キャスターを取り付けると、ZitA SQUAREの高さは1.5cm増加します。カウンター下などに設置している場合、必要に応じてセンサー感知距離を調節して下さい。



販売ページはこちらから▶



ニオイ対策について

ZitA SQUAREは徹底したニオイ対策が施されています。

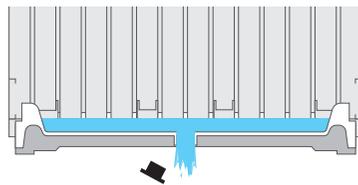
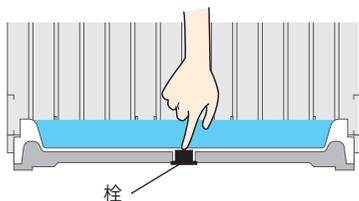
開放時間を短くしてニオイの放出を減らす

開放時間を2秒以内に設定することでニオイの放出量を抑えることが可能です。

底に溜まった汚水を抜いてニオイを減らす

底の栓を抜くことで汚水を排出できます。

- ①お風呂場など、汚水を排出できる場所に
ZitA SQUAREを移動させる
- ②ZitA SQUAREの中に手を入れて
栓を押す
- ③液体が排出される



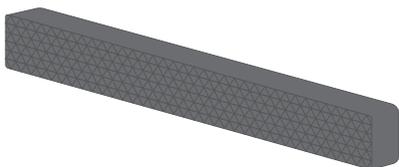
※栓はそのまま床に落ちますので、なくさないようにご注意ください。

説明動画はこちらから ▶



消臭剤でニオイそのものを減らす

ZitA SQUAREは悪臭を吸着し分解するZitA消臭剤を搭載しています。



活性炭の力で悪臭を吸着

ZitA消臭剤に付着させた活性炭には、表面に目には見えないミクロの穴が無数に空いており、そのミクロの穴がゴミ箱内の悪臭原因物質を吸着します。

特殊な薬剤の力で悪臭を吸着して分解

ZitA消臭剤に付着させた特殊な薬剤がゴミ箱内の悪臭原因物質を吸着・分解します。この吸着・分解を繰り返すことで、消臭効果が長持ちします。

※消臭剤メーカー試験済み

消臭剤の交換サイクル

消臭剤は消耗品のため、交換が必要です。

一般的な悪臭を吸着するだけの消臭剤の交換サイクルは1-2ヶ月ですが、ZitA消臭剤は悪臭を吸着した後に分解できるので、交換サイクルは6ヶ月となります。

※使用環境によって交換サイクルは変わります。

説明動画はこちらから▶



消臭剤の交換時期をお知らせ

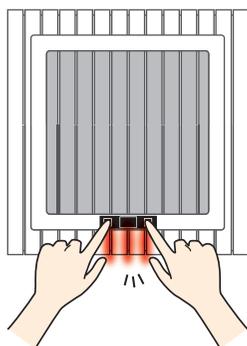
電池を入れて6ヶ月後経つと、赤色のLED点滅でお知らせします。

- ①電池を入れて計測スタート
- ②6ヶ月経つと、赤色LEDが点滅して、交換時期をお知らせ
- ③左右ボタンを長押しして通知オフ(計測スタート)
- ④消臭剤を交換する

販売ページはこちらから ▶

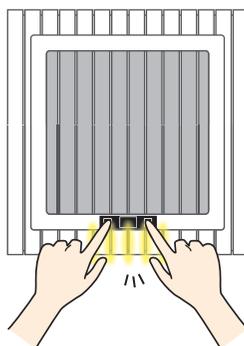


ニオイの出るゴミを捨てない使用環境では、この機能は不要です。左右ボタンを同時に長押しすると、消臭剤交換時期の通知機能のオンオフを切り替え可能です。



通知機能オフの状態

LEDが赤に点滅



通知機能オンの状態

LEDが黄に点滅

説明動画はこちらから ▶



ニオイ対策を実感するには？

ZitA SQUAREの中と、外のニオイを比較してみましょう。

- ①開放時間を2秒に設定する
- ②一度、自動開閉を行う
- ③センサーオフモードでフタが開かない状態にする
- ④ニオイがZitA SQUAREの外にどの程度出たか確認する
- ⑤ZitA SQUAREのフタを取り外して、中のニオイを確認する

お手入れ

シャッター部分以外が、汚れた時は布で軽く拭き取って下さい。

シャッター部分が汚れた時は、センサーオフモードを活用するか、
主電源を切って開閉しない状態にした後、

シャッターの縦ラインに合わせて布で軽く拭き取って下さい。

※シャッターの進行方向に合わせて拭き取りを行わないようにして下さい。故障の原因になります。

※長期間使用しない時は、電池を取り外して下さい。ショートによる発火や液漏れの原因になります。

※変色、破損の原因になりますので、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含むものは使用しないで下さい。

汚れがひどい場合は、薄めた食器用中性洗剤を布に含ませて拭き取り、その後洗剤が残らないように必ず水拭きして下さい。ノンアルコールの除菌シートやウェットティッシュのご使用もオススメです。

よくある事例と正しい使用方法

Q シャッターを手で動かしても良いですか？

A お控え下さい。故障の原因になります。

Q フタに手が挟まれたら危険ですか？

A 危険はありません。手が挟まれたら、シャッターは自動で停止します。シャッターは手で動かさずに、手を抜いてセンサーもしくはボタンを押して開閉すると正常な状態に戻ります。

Q 水洗いはできますか？

A フタは水洗いはできません。本体は水洗いができます。洗剤使用時は中性洗剤を薄めて、研磨剤不使用のソフトスポンジで洗ってください。たわしや研磨剤配合のスポンジは傷がつきます。

Q 乾燥させるために外に置いてもいいですか？

A 屋内での乾燥をお願いします。短時間であっても屋外での乾燥はおやめください。商品の破損や発火の恐れがあります。

Q 使用できるゴミ袋は何リットルですか？

A 45リットル、30リットル用ゴミ袋をご使用いただけます。

Q カウンター下などに設置する場合、フタの上は何センチ必要ですか？

A 1cm～30cmの間で感知距離の設定ができます。拳ひとつ分程度の空間があるとゴミ捨てがしやすいです。

Q ペットがフタに飛び乗った場合フタは開いてしまいますか？

A センサーが感知すればフタは開きます。センサーオフモードでご使用ください。

何かおかしい…と思ったら?

もし、お手元に到着した商品になにか問題があった場合、下記のご相談窓口までご連絡下さいませ。
担当より丁寧にに対応させていただきます。

ご相談窓口

株式会社さくらドーム 福岡県糸島市荻浦1-8-12 13 B1

✉ order@sakuradome.com [24時間受付]

☎ 092-332-8747 [10:00~13:00]

(土日祝日・店舗臨時休業日を除く)

※お問い合わせの際は、**【販売店】**【注文番号】をお知らせください。



公式LINEアカウント

※メールよりもスムーズに
やり取り可能です。

仕様

同梱品 ZitA SQUARE
(本体パネル4枚、フタ、リング、金属固定パーツ、消臭剤スロット、消臭剤)

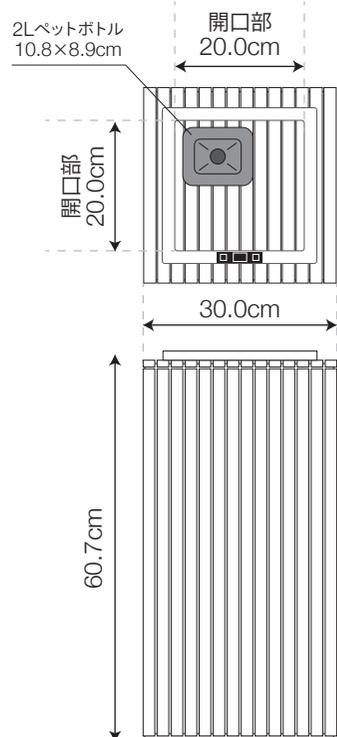
素材 本体:ABS樹脂・アルミニウム合金 フタ:ABS樹脂・アルミニウム合金

重量 4.8kg(電池を含まない)

電池 アルカリ単3電池 x 4本もしくは8本(別売)

対応ゴミ袋 45L、30L

サイズ 30 x 30 x 60.7cm



保証 製品到着より1年間

対応方法 保証期間内:無料で、交換または修理

(メーカー判断による)

保証期間外:有料で、交換または修理

(メーカー判断による)

条件

- ・製造元起因の欠陥であること。
- ・ユーザーにより改造、改変されていないこと。
- ・本保証書・ご注文番号または購入証明書(購入年月日、店舗名が分かるレシートや納品書)がお手元にあること。

※事故、不適切なケア、過失、通常の摩損、または長時間にわたる材料の自然分解によって生じた損傷は適用外。